

事務事業評価表

担当課	産業観光部	商工労政課	商業労政係	事務事業No.	15112		
事務事業名	労働諸費一般経費			会計	一般会計		
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	5	項	1
施策目標	競争力のある中小企業の育成						
後期計画掲載頁	64	頁	個別計画				頁
事業期間	平成		年	～	平成		年
根拠法令・要綱等							

事業の概要
 やる気と熱意を持った経営者、後継者育成のために技能功労者褒賞を授与。

事業の目的
 大田市技能功労者褒賞要綱に基づく褒章を開催し、技能に従事された方の社会的地位の向上と、各業界の発展を目指す。

事業内容
 技能功労者褒賞式典の開催。
 ・技能功労者は、同じ職種に30年以上従事し、60歳以上で熟練を極める職人
 ・農業功労者は、60歳以上で10年以上従事し、農業振興に貢献された人
 ・優良建設工事は、優良工事に選定された建設会社と担当者の表彰

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費(決算額)	222千円	176千円	176千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	222千円	176千円	176千円

活動指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	技能功労褒章対象者	4	4	3	10	30.0%	10
②							
③							

成果指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①					—	—	—
②					—	—	—
③					—	—	—
2. 数値で表せない効果		(指標) 技能に従事された方の社会的地位の向上と、各業界の発展に寄与している。					

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 広報誌等で周知に努めているものの、技能功労褒賞は、対象者の減少と未組織業種等での技能功労対象者の把握が課題である。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である
点数	2	2	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	今後の方向性	継続	様々な分野を対象に長期に渡り地域の発展や後継者の育成など貢献された方々に対する表彰であり、表彰該当者が減少している状況であるが、地域内での対象者の再確認等を行いながら、今後も継続していく必要がある。				
	評価点合計	14	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	商工労政課	商業労政係	事務事業No.	15114		
事務事業名	創業支援事業			会計	一般会計		
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	5	項	1目1
施策目標	雇用の確保・創造と労働環境の充実、競争力のある中小企業の育成						
後期計画掲載頁	56、64	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
 雇用の開拓と勤労者の労働環境の充実及び人材確保のための企業説明会の開催。
 大町市創業支援協議会を中心とした創業セミナー、創業塾等の開催による、創業希望者、創業者の育成、支援
 社会保険、年金等に関する相談事業。

事業の目的
 ハローワーク、大町職業安定協会等と連携し、求人開拓を始め、管内の雇用環境改善を図る。
 また、新規学卒予定者、IUターン就職希望者への地元就職機会の提供、事業主に対しての人材確保、地域内での雇用促進、定住に向けた対策を図る。
 勤労者の福利厚生の上向上に努める。
 新規創業による地域経済の活性化、空き店舗解消、雇用創出。

事業内容
 雇用の場の確保促進、企業説明会（就職面接会）の開催、大町職業安定協会・大北高等職業訓練校の支援。
 創業支援協議会によるセミナー、創業塾の開催、相談窓口の設置。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	2,499千円	2,669千円	3,969千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	2,499千円	2,669千円	3,969千円

活動指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 企業訪問件数	人	803	778	—	—	—	—
② 創業セミナー	回		1	2	2	100.0%	2
③ 創業塾	回			1	1	100.0%	1

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 有効求人倍率推移（年平均）	%	1.34	1.47		1.00		1.00
② 創業セミナー参加者	人			40	40	100.0%	40
③ 創業塾参加者	人			43	20	215.0%	20

2. 数値で表せない効果
 （指標）

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 企業説明会（就職面接会）等は、地域住民や学生等へ浸透させるため、継続開催している。参加事業所も引き続き多くの事業者に参加していただけるよう取組む必要がある。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
評価	高い	高い	高い	重複なし	低い	改善の余地あり	
点数	3	3	3	3	1	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	企業説明会は、学卒者、IUターン、高校生を対象に、ハローワーク、大町職業安定協会、大北地域5市町村の共催により開催し、地域での雇用、人材確保、若者、IUターン者の定住等による人口対策等のため、今後も継続していく必要がある。 また、各種団体への支援は、労働者の生活の安定と地域経済活性化のためにも継続的な支援が必要である。 創業支援協議会による、創業セミナー、創業塾等の開催など、継続した取り組みにより、創業希望者、創業者への支援をおこない、実際の創業につなげる。				
	評価点合計	15	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	商工労政課	商業労政係	事務事業No.	15115		
事務事業名	勤労者福祉事業			会計	一般会計		
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	5	項	1
施策目標	雇用の確保・創造と労働環境の充実						
後期計画掲載頁	56	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
労働者の福利厚生向上・勤労者生活安定

事業の目的
地域の勤労者に対し、職場で働く労働者の福利厚生と暮らしの支援を行ない、住みやすく働きやすい地域の構築を目指す

事業内容
大北勤労者互助会及び大町支部互助会事業の事務局運営
大北勤労者福祉協議会と大北勤労者互助会との情報の共有と互助会会員への情報提供
勤労者への住宅資金融資の利子補給による生活安定への支援
社会保険や年金など雇用に関する課題に対する相談体制確立

事業費	財源内訳	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
		総事業費（決算額）	104,426千円	104,268千円	104,528千円
		国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	100,000千円	100,000千円	100,000千円
	一般財源	4,426千円	4,268千円	4,528千円	

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①					—	—	—
	②					—	—	—

成果指標	1. 数値で表せる指標	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	① 勤労者住宅利子補給金件数	件	14	10	14	20	70.0%	20
	② 勤労者資金融資事業	件	16	21	30	25	120.0%	20

2. 数値で表せない効果
（指標 ）大北地区労働者福祉協議会による勤労者へのセミナー開催に募集等の連携をしており、セミナーの実施によって勤労者の生活向上につながっている。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
勤労者を支援するため労働金庫と協力して取り組んでいる事業であることから、勤労者住宅利子補給金、勤労者資金融資事業ともに労働金庫からの融資を受けた方が対象となるため、他の金融機関等との競合もあり、利用実績の少ない部分も見られる。

項目	必要性	有効性	効率性				
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度				
	事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化				
評価	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である	
点数	3	3	2	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	勤労者の福利厚生は、生活に活力と安心を与え、地域活性化に重要であり継続が必要である。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	商工労政課	商業労政係	事務事業No.	17114
事務事業名	中小企業支援事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7 項 1 目 1
施策目標	競争力のある中小企業の育成				
後期計画掲載頁	64	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 中小企業の経営安定や新規事業の支援のため、制度資金融資の斡旋と信用保証協会の保証料補給金支援
 商工会議所の支援による市内企業の育成支援
 地域商品券発行事業への支援

事業の目的
 企業の事業主などからの事業経営に関する様々な相談や課題に対し、経営指導を行い健全な経済環境整備の構成を目指す。
 事業経営に必要な資金融資を円滑に行えるよう資金を金融機関に預託し、低利な制度資金融資を行うことにより、市内企業の発展を目指す。中小企業振興条例に基づく事業実施に関して、補助申請により必要に応じて審議会において審議し、中小企業の創業支援や経営安定等を図る。

事業内容
 中小企業振興条例に基づく必要案件を審議するため中小企業振興審議会の開催
 県および市制度資金融資の斡旋および融資等の相談
 商工会議所による中小企業の事業活動の相談業務等への支援
 定住促進、地域経済の活性化につながる地域商品券発行事業への支援

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業費	総事業費（決算額）	428,576 千円	429,620 千円	424,880 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	400,000 千円	400,000 千円	400,000 千円
		一般財源	28,576 千円	29,620 千円	24,880 千円

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
活動指標	① 融資申込件数	件	65	73	51	80	63.8%	80
	② 融資申込額	千円	467,290	411,166	238,840	585,000	40.8%	580,000
	③ 保証料補給金	千円	12,302	13,135	8,649	15,000	57.7%	15,000

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
成果指標	①				—	—	—
	②				—	—	—
	③				—	—	—

2. 数値で表せない効果
 （指標 ）大町商工会議所で市内企業の経営相談、商店街との調整、中心市街地活性化のための協議会での事業推進等、関係機関との調整により、市内の経済活性化が図られている。中小企業の資金需要に対応する融資制度の活用により、市内において事業の継続がされていると認識している。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 制度資金融資の利用は、事業者の経営状況、各金融機関の独自の融資制度などもあることから、年によって利用件数に波がある。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	2	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	大町商工会議所との連携により、商工業などの活性化施策の展開を促進して行くことは今後も必要である。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	商工労政課	ブランド振興係	事務事業No.	17115		
事務事業名	ブランド振興事業			会計	一般会計		
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7	項	1
施策目標	競争力ある中小企業の育成						
後期計画掲載頁	64-65	頁	個別計画	信濃大町ブランド戦略			頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
 大町市の地域ブランド力を向上するため、地域産業の育成と振興、おおまびょんを活用した情報発信、消費者視点による商品の開発支援、首都圏等における物産展への出展による市特産品の販売促進等

事業の目的
 他地域との差別化や優位性をしっかり見定め、当市のブランド力を高めることにより、当市のモノを買いたい、訪れたい、住みたい、と思う方を増やし、最終的に移住・定住人口の増加を目的とする。

事業内容
 ①信濃大町の魅力発信（信濃大町ブランドキャッチフレーズ、ロゴマーク公募、選定）
 ②おおまびょんを活用した市の認知度向上
 ③物産展における特産品等のPR
 ④鉄拳パラパラ動画作成、公開

事業費	年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	総事業費（決算額）		34,368	千円	15,239	千円	17,930	千円
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円
		県支出金		千円		千円		千円
		起債		千円		千円		千円
		その他財源		千円		千円	965	千円
一般財源		34,368	千円	15,239	千円	16,965	千円	

活動指標	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	達成率	目標値
	①	物産展出展	回	21	21	27	15	180.0%	30
	②	キャラクター出演	回	138	181	172	150	114.7%	180
	③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	認知度県内順位（19市中）		14	13	12	13	—	10
	②								
	③								

2. 数値で表せない効果
 （指標）

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 過去の地域ブランドの取組みの課題等を検証することにより、改めて地に足のついた着実なブランド力向上のための取組みと、より効率的なブランディング手法の展開を図る必要性がある。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である
	点数	3	3	2	3	2	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	拡大 評価点合計 16 / 18	①信濃大町ブランドキャッチフレーズ、ロゴマークを情報発信アイテムとしての活用 ②おおまびょんを活用した市の認知度向上：未永く愛されるキャラクターを目指す。 ③物産展における特産品等のPR：信濃大町ブランドの消費拡大を図る。 ④鉄拳パラパラ動画配信により、観光客の誘客はもとより、市民の地元への愛着を深める効果を狙う。（視聴回数約23万回、6/26現在）					

事務事業評価表

担当課	産業観光 部	商工労政 課	商業労政 係	事務事業No.	17116		
事務事業名	中心市街地多目的ホール管理事業			会計	一般会計		
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7	項	1 目 1
施策目標	賑わいと個性あふれる商業の展開						
後期計画掲載頁		頁	個別計画				頁
事業期間	平成		年	～	平成		年
根拠法令・要綱等							

事業の概要
中心市街地多目的ホール管理業務委託。

事業の目的
中心市街地多目的ホールの管理業務を委託し、市民等が利用しやすく効率的な施設運営を目指す。

事業内容
中心市街地多目的ホール指定管理委託事務。
施設の使用受付許可事務、使用料の收受事務及び公衆トイレ維持管理業務。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	2,680 千円	2,835 千円	2,766 千円
	国庫支出金			
	県支出金			
	起債			
	その他財源			
	一般財源	2,680 千円	2,835 千円	2,766 千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	施設利用数	件	252	206	226	260	86.9%	260
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—
2. 数値で表せない効果 (指標)								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
施設設備の老朽化に対応するため、維持補修を計画的に行う必要がある。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である
点数	2	2	2	3	2	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続 評価点合計 14 / 18	多目的ホール指定管理については、施設の利便性からも大町商工会議所に継続して指定管理運営を委託し施設の有効利用により市街地の活性化につなげたい。				

事務事業評価表

担当課	産業観光 部	商工労政 課	商業労政 係	事務事業No.	17117		
事務事業名	中心市街地活性化事業			会計	一般会計		
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7	項	1 目 1
施策目標	にぎわいと個性あふれる商業の展開						
後期計画掲載頁	90	頁	個別計画	中心市街地活性化基本計画（第3次計画）			頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
中心市街地の商店街の活性化、再生による市街地のにぎわい創出。

事業の目的
中心市街地活性化基本計画の施策事業を実施し、ソフト事業を中心に市街地に賑わいの創出を目指す。

事業内容
基本計画の評価・検証。
大町まちづくり協議会との連携によるまちなかドレスアップ事業や「荷ぐるま市」などイベントの開催。
空き店舗活用事業による空き店舗解消、新規開業者への支援。
商店街が独自に取り組む消費者交流事業等への支援。

事業費	財源内訳	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
		総事業費（決算額）	9,729 千円	15,371 千円	28,314 千円
		国庫支出金	千円	千円	5,900 千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
一般財源	9,729 千円	15,371 千円	22,414 千円		

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
	① のれん設置数	個	実績値 30	実績値 18	実績値 15	目標値 20	(%) 75.0%	目標値 20
	②							
	③							

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	① ゆかたまつり・やまびこまつり参加者数	人	10,000	10,000	10,000	10,000	100.0%	10,000
	② 信濃大町まつり参加者数	人	—	35,000	10,000	—	—	—
	③							
2. 数値で表せない効果 (指標)								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
見直し後の中心市街地活性化基本計画に基づいた事業の実施は、担当課だけではなく、ハードの整備や施設に関する建設課、市民課等と連携した取り組みが必要。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
	点数	3	3	3	3	2	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	継続	大町まちづくり協議会が中心となって、中心市街地活性化基本計画に基づく施策の実施に取り組んでいる。新計画策定により、継続してまちづくり施策に取り組んでいく必要がある。空き店舗活用事業により空き店舗が解消、有効利用されることにより、市街地の賑わい創出につながる。中心市街地については、建設課、まちづくり交流課等においても空き店舗、空家等に関する取り組みが行われているので、連携した取り組みを進める。					
	評価点合計	17 / 18					

事務事業評価表

担当課	産業観光 部	商工労政 課	ブランド振興 係	事務事業No.	171112
事務事業名	アンテナショップ運営事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7 項 1 目 1
施策目標	競争力ある中小企業の育成				
後期計画掲載頁	64-65	頁	個別計画	信濃大町ブランド戦略	頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
	根拠法令・要綱等				

事業の概要
 大町市の地域ブランド力の向上と、特産品等の販路拡大のため、アンテナショップを活用した都会での情報発信や特産品販売事業。

事業の目的
 大町市の認知度向上と大町市特産品の販売促進。

- 事業内容**
- ・特産品販売、観光案内業務
 - ・観光圏開催イベント等への出展
 - ・販路拡大に向けた営業活動 等

事業費	年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		
	総事業費（決算額）		6,500 千円		6,750 千円		6,165 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		6,500 千円		6,750 千円		6,165 千円	

活動指標			平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	売上金額	千円	7,928	8,654	7,027	9,000	78.1%	8,000
	②								
	③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①					—	—	—
	②					—	—	—
	③					—	—	—

2. 数値で表せない効果
 （指標 ）

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 設置から6年が経過し、アンテナショップの目的のひとつである認知度向上については、立川市を中心に近隣市町村等において一定の成果が得られたと感じているが、現在は店舗における顧客の多くが近隣住民であり、集客数及び店舗売上金額が少ないことが課題となっている。

評価	項目	必要性		有効性		効率性		
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	普通	低い	普通	一部重複	低い	改善の余地あり	
	点数	2	1	2	2	1	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）						
	今後の方向性	やり方改善	平成29年度より運営事業所の変更に伴い、適切な運営についての指導強化を行う。一方的な情報発信に留まるのみでなく、地域的な協力体制や受け入れ体制を強化することにより、移住・交流事業の窓口的な役割を担う機能向上を目指したい。					
	評価点合計	10	※予算科目はブランド振興事業費に統合					
	方向性	18						

事務事業評価表

担当課	産業観光部	商工労政課	ブランド振興係	事務事業No.	171113
事務事業名	地方創生推進ブランド振興事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7 項 1 目 1
施策目標	競争力ある中小企業の育成				
後期計画掲載頁	64-65	頁	個別計画	信濃大町ブランド戦略	頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要
地方創生推進交付金事業。

事業の目的
地域の重要な資源である水を活用したブランドイメージの構築と地域の魅力向上を目的とする。

- 事業内容**
- ①特産品開発コンテスト開催（地域の魅力を十分に伝えることができる特産品や土産品の開発を促進する。）
 - ②特産品パッケージ作成（消費者視点でリニューアルすることで、特産品の魅力向上を図る。）
 - ③大町市の水の比較分析実施（大町市の水と他市の水との差別的優位性を明確にする。）
 - ④駅前親水スポット整備基本構想案策定（水ブランド戦略の手法の一つとして親水空間の創出を目指す。）

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	千円	千円	4,308 千円
	国庫支出金	千円	千円	837 千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	千円	千円	3,471 千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①		回				—	—	—
②		回				—	—	—
③						—	—	—

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①						—	—	—
	②						—	—	—
	③						—	—	—
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 信濃大町ブランド戦略、特に水ブランド戦略として、改めて「大町の水」の良さを再認識し、郷土への愛着の醸成に役立つブランディング手法の展開が必要となる。
 大町の水の特色を積極的に打ち出し、戦略的な情報発信に努め、記憶に残る事業展開を目指す。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	①特産品開発コンテスト入賞作品等の商品化に向けた支援、マーケティング調査 ②特産品の消費拡大に向けた取組み ロゴマーク等の活用により、信濃大町の魅力発信ツールとしての活用 ③大町の水の特長を生かした商品開発 不純物が少なく、バランスの良さこそが特長という、水の特長を生かす。 ④駅前親水施設整備基本構想策定に向けた意見交換の開催 「水のまち」を目指し、中心市街地の活性化まで広げた視野で事業を進めるためには、住民との合意形成を図ることが必要とされる。				
	評価点合計	16	/ 18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	商工労政課	ブランド振興係	事務事業No.	171123
事務事業名	繰越明許費ブランド振興事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7 項 1 目 1
施策目標	競争力ある中小企業の育成				
後期計画掲載頁	64-65	頁	個別計画	信濃大町ブランド戦略	頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要
平成27年度ブランド振興事業費からの繰越

事業の目的
ブランド力の継続的な向上を図るための信濃大町ブランド戦略に基づく施策を推進するため

事業内容
信濃大町ブランド戦略推進委員会の開催（3回開催）

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	千円	千円	336千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	千円	千円	336千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	信濃大町ブランド推進委員会	回			3	—	—	—
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①					—	—	—
	②					—	—	—
	③					—	—	—
2. 数値で表せない効果 (指標)								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	普通	普通	重複なし	普通
点数	3	2	2	2	2	2
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続					
	評価点合計	信濃大町ブランド戦略に基づき着実なブランド戦略の推進を図るため、信濃大町ブランド戦略推進委員会においてブランド戦略の進捗管理を行っていく。				
	13	18				